



## ～戮力協心～ NO.3

2023年8月15日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

# 被爆から78年…長崎平和行動

8月8日～9日にかけて、JR総連九州地協主催の2023長崎平和行動が開催されました。例年は九州内の取り組みでしたが、今年は他地方との連帯を強化するべく、JR貨物労組関西地本から7名の青年部員も参加し、長崎の地で平和行動を取り組みました。

## ○岡まさはる記念長崎平和資料館

8月9日11時2分、長崎に投下された原子爆弾は7万人を超える死者を出し、重軽傷者を合わせると15万人近くにも及ぶ甚大な被害を出しました。原爆の恐ろしさを伝える資料館は県内外にあります。この資料館は**日本がアジア諸国に侵略した加害者**としての展示が行なわれています。多くの犠牲を出した原爆投下は決して許されるものではありません。しかし、太平洋戦争で日本軍がアジアの人々に対して行なってきた侵略行為や人権侵害も忘れてはなりません。写真や模型など、当時の様子を伝える生々しい展示から、戦争がもたらす凄惨な出来事を学びました。



## ○連合2023平和十ガサキ集会



原爆による被害を伝え、核兵器廃絶と恒久平和の実現をめざす、連合主催の平和集会に参加しました。当時、を体験した方の被害の様子や、核軍縮にむけた講演などが行なわれました。現在、核抑止論が叫ばれていますが、核によって得られるものよりも、もたらされる被害の大きさに目をむけるべきとの言葉が印象的でした。

日本の安全保障が議論されていますが、核による抑止力など軍拡による緊張感の高まりは、平和を脅かすこととなります。多くの尊い犠牲によって今の平和はつくられました。**長崎への原爆投下が最後の核兵器使用**となるように、各地の平和集会や平和行動に参加し、平和を求める声を上げていきましょう！！

## 核のもたらす被害を学び、核兵器廃絶と平和の実現にむけて 平和運動の実践を青年部から取り組もう！！